

広報紙で振り返る

# —平成3年—

たはらの歩み 1991年

湾岸戦争

雲仙岳で大規模な火砕流が発生

- 2月 公共下水道一部供用開始
  - 4月 ふれあいの里パターゴルフ場(津具村)オープン
  - 6月 たはら夏まつりの新曲「ジャンダラリン」発表
  - 8月 国民体育大会田原町実行委員会設立
  - 9月 成章高校とスコット高校(ジョージタウン市内)が姉妹校提携
  - 10月 華山(没後)150年祭開催
  - 12月 汐川の水質全国ワースト1が発表される
- 詳しくは「広報たはら縮刷版」でご覧になれます。縮刷版は総務課(☎23局3728)にて販売中です。

## たはら歴史探訪クラブ

たはらの歴史への招待

その1

歴史ってなんだろう。なぜ歴史が大切なんだろう。この問いかけには、はつきり答えることができないかもしれませぬ。しかし、無意識のうちに、私たちは歴史の大切さを感じています。人は歴史によって過去を懐かしみ、地域の誇りとし、また過去の大きな過ちとして明日に活かす方法を知らることができます。

田原町には、私たちの祖先が残した歴史—文化遺産—が数多く残されています。国指定史跡が3か所、国指定重要文化財歴史資料1件、県指定史跡1か所、記念物1か所、彫刻1件、その他町指定の文化財、遺跡(約300か所)、伝承、まつりなどその種類、内容は他では見られない

でしょう。その代表的なものとして、縄文時代の吉胡貝塚、平安時代の大アラコ古窯跡、田原城、田原藩の記録類、渡辺華山などがあげられるでしょう。これらは日本の歴史の中でも重要なものばかりで、田原町が誇る歴史です。しかしその一方で、町内には人々が苦勞をして築き上げた、地域の歴史があることを見逃してはいけません。

よく「私のところには歴史がない」という言葉を聞きます。そんなことはありません。歴史は身近にあり、私たちはその存在に気づいていないだけなのです。道に転がる石ひとつにも、タンスの奥深くしまわれている紙一枚にも、地域の歴史が隠されているかもしれません。

今回から連載する「たはら歴史探訪クラブ」はそんな身近な歴史に目を向けていきたいと思えます。

広報たはらは、森林資源保護のため再生紙(古紙配合率100%・白色度70%)を使用しています

ただし、すべてを網羅することはできませんので、内容に偏りがあるかもしれません。しかし、この連載を機会に地域の歴史に興味を持ってれば、地域に対する愛着が深まればと考えています。

さあ、次回からいよいよたはら歴史探訪へ出発します。

田原町の歴史に係る出版物  
右から「渥美半島の文化財」、「田原町文化財めぐり」(入門者に最適・無料配布)



「田原町史」「田原の文化」(もっと詳しく知りたい方には)



▽田原町博物館 ☎22局1720

## 今月の表紙

あなたにとって、「町」ってなんですか。自分の住んでいる町をどう感じていますか。

今、市町村合併の議論が活発に行われています。合併すると、私たちの生活は、どう変わるのでしょうか。合併した方がよいのでしょうか。しない方がよいのでしょうか。考え出すと不安になるので、できれば話題にしたくない気もします。

でも、立ち止まって、知らないふりをするのが、一番罪なことなのかもしりませぬ。正面から向き合って、真剣に議論し、どちらの方向に進むか決断し、歩き始めなければなりません。それは、自分のために。家族のために。地域のために。町のために。渥美半島のために。そして、まだ見ぬ子供や孫たちのために。

## 【人口と世帯数】

総人口	36,894人
男性	18,873人
女性	18,021人
世帯数	11,434世帯

出生	31人	死亡	31人
転入	98人	転出	94人
増減	4人		

(平成13年3月1日現在・増減は2月中)

【行政面積】 82.86 km<sup>2</sup>

(平成11年10月1日現在・国土地理院調べ)